



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東
コード番号 7030 URL <https://sprix.inc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 利英 TEL 03(6416)5476
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	8,707	6.4	1,171	10.4	1,189	11.5	730	11.9
2024年9月期第1四半期	8,183	6.0	1,061	41.4	1,066	41.7	652	43.7

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 731百万円 (12.2%) 2024年9月期第1四半期 651百万円 (44.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	41.58	41.42
2024年9月期第1四半期	37.48	37.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	21,280	9,977	46.7
2024年9月期	20,448	9,562	46.5

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 9,931百万円 2024年9月期 9,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2025年9月期	—				
2025年9月期（予想）		19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	6.7	1,600	46.3	1,600	41.1	850	70.0	48.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期1Q	17,921,700株	2024年9月期	17,778,150株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	334,085株	2024年9月期	337,085株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期1Q	17,558,300株	2024年9月期1Q	17,408,474株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しております。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果が奏功し、堅調な回復が続くことが期待されますが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化が進むなかで、様々な教育制度改革が進行しております。また、あらゆる産業でアナログからデジタルへの転換、サービスの在り方が見直されるなか、IT技術の活用等による新たな教育・指導形態の必要性も一層高まってきております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,707百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は1,171百万円（前年同期比10.4%増）、経常利益は1,189百万円（前年同期比11.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は730百万円（前年同期比11.9%増）、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費）は1,404百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

セグメント情報は次の通りです。

「森塾」

中核事業である個別指導形式の学習塾「森塾」におきましては、当第1四半期連結会計期間末において229教室（前年同期比20教室増）展開しております。

生徒数が堅調に推移した結果、当第1四半期連結会計期間末における「森塾」在籍生徒数は52,839人と、前年同期比5,646人増となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注1）	4,335百万円	4,702百万円	8.5%増
セグメント利益（注1、2）	1,496百万円	1,576百万円	5.3%増
EBITDA（注3）	1,528百万円	1,612百万円	5.5%増
教室数	209教室	229教室	20教室増
生徒数	47,193人	52,839人	5,646人増

注1）売上高は外部顧客への売上高、及びセグメント利益は、セグメント間取引の相殺前の数値であります。

注2）セグメント利益は、無形固定資産の償却費を反映しております。

注3）EBITDAは、営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費であります。

「湘南ゼミナール」

集団指導形式の学習塾「湘南ゼミナール」におきましては、当第1四半期連結会計期間末において203教室（前年同期比7教室増）を展開しております。2024年春の合格実績は前年に引き続き回復し、小学生のコンテンツ拡充およびマーケティング強化により主要コースである総合進学コースを含む小中部の小学生の生徒数は3四半期連続で前年同期比増加し、来年度の生徒数に直結する中学2年生以下の合計生徒数は2四半期連続で前年同期比増加いたしました。しかしながら、中学3年生の生徒数が前年同期比で減少した結果、当第1四半期連結会計期間末における「湘南ゼミナール」在籍生徒数は19,719人（前年同期比165人減）となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	2,460百万円	2,508百万円	2.0%増
セグメント利益	458百万円	483百万円	5.4%増
EBITDA	569百万円	544百万円	4.4%減
教室数	196教室	203教室	7教室増
生徒数	19,884人	19,719人	165人減

「河合塾マナビス」

講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾である「河合塾マナビス」におきましては、当第1四半期連結会計期間末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして51教室（前年同期比1教室増）を展開しております。

全学年の生徒数が3四半期連続で前年同期比増加した結果、当第1四半期連結会計期間末における「河合塾マナビス」在籍生徒数は5,380人（前年同期比421人増）となりました。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	721百万円	769百万円	6.5%増
セグメント利益	26百万円	37百万円	37.7%増
EBITDA	82百万円	90百万円	9.4%増
教室数	50教室	51教室	1教室増
生徒数	4,959人	5,380人	421人増

「その他」

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレスタシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

「自立学習RED」は、教育ITを利用した学習塾であり、当第1四半期連結会計期間末において直営6教室（前年同期比増減なし）、FC214教室（前年同期比15教室増）を展開しております。

また、「その他」に含まれる教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレスタシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集webサイト「塾講師JAPAN」などの既存事業がいずれも堅調だったことに加え、AIタブレットで基礎学力を養成する「SPRIX LEARNING」「DOJO」や、サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、21,280百万円（前連結会計年度末比832百万円増）となりました。主な要因は、現金及び預金が728百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、11,303百万円（前連結会計年度末比417百万円増）となりました。主な要因は、未払金が426百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、9,977百万円（前連結会計年度末比414百万円増）となりました。主な要因は、配当金の支払いにより331百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益730百万円により増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年11月12日の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,359	6,088
売掛金	374	338
商品及び製品	326	462
仕掛品	66	129
貯蔵品	26	39
未収入金	2,619	2,975
その他	1,082	813
貸倒引当金	△48	△51
流動資産合計	9,806	10,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,591	3,579
土地	489	489
その他(純額)	160	183
有形固定資産合計	4,240	4,252
無形固定資産		
のれん	2,183	2,106
ソフトウェア	173	168
その他	746	772
無形固定資産合計	3,103	3,047
投資その他の資産		
投資有価証券	276	294
繰延税金資産	727	697
敷金及び保証金	2,045	2,090
その他	246	103
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,297	3,185
固定資産合計	10,641	10,485
資産合計	20,448	21,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	150	185
未払金	1,468	1,895
短期借入金	717	1,226
1年内返済予定の長期借入金	363	363
未払法人税等	418	456
未払消費税等	452	513
前受金	4,590	4,035
賞与引当金	440	362
その他	618	671
流動負債合計	9,221	9,709
固定負債		
長期借入金	429	342
役員退職慰労引当金	75	75
退職給付に係る負債	127	133
資産除去債務	1,032	1,042
固定負債合計	1,664	1,594
負債合計	10,886	11,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,444	1,451
資本剰余金	1,434	1,441
利益剰余金	7,013	7,412
自己株式	△377	△375
株主資本合計	9,516	9,930
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	1	1
新株予約権	44	43
非支配株主持分	—	1
純資産合計	9,562	9,977
負債純資産合計	20,448	21,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	8,183	8,707
売上原価	5,118	5,631
売上総利益	3,064	3,075
販売費及び一般管理費	2,003	1,904
営業利益	1,061	1,171
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	—	17
助成金収入	0	1
その他	9	2
営業外収益合計	9	21
営業外費用		
支払利息	1	2
支払手数料	—	0
その他	2	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	1,066	1,189
特別利益		
固定資産売却益	—	0
新株予約権戻入益	2	0
特別利益合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	1,069	1,190
法人税、住民税及び事業税	428	427
法人税等調整額	△11	31
法人税等合計	416	458
四半期純利益	652	732
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	652	730

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	652	732
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	651	731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	651	729
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	191百万円	147百万円
のれんの償却額	102百万円	78百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	4,335	2,460	721	7,517	665	8,183	—	8,183
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	4,335	2,460	721	7,517	665	8,183	—	8,183
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	0	0	△0	—
計	4,335	2,460	721	7,517	665	8,183	△0	8,183
セグメント利益 又は損失 (△)	1,496	458	26	1,982	△248	1,733	△672	1,061

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△672百万円には、のれんの償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△667百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント及びその他に帰属しない販売費および一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年10月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	4,702	2,508	769	7,979	727	8,707	—	8,707
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	4,702	2,508	769	7,979	727	8,707	—	8,707
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	3	3	△3	—
計	4,702	2,508	769	7,979	730	8,710	△3	8,707
セグメント利益 又は損失(△)	1,576	483	37	2,096	△363	1,732	△561	1,171

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業(研究開発費等を含む)」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス(フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△561百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメント及びその他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。